

学校の活動から

○未来を創る力を！（始業式で話をさせていただいた内容）

令和8年度の2学期が始まりました。子ども達は新たにやる気をもって2学期のスタートを迎えているようです。そして、10月5日（土）には、**早速「学習参観」を実施**し、子ども達はご家族の皆様頑張っている姿を見ていただこうと、意欲的に学びを深めていました。**保護者の皆様には、ご多用の中、ご参観くださり誠にありがとうございました。**
さて、2学期が始まるにあたっての始業式の中で、子ども達には次のような話をしました。

子ども達が好きな「ドラえもん」は実は今からおおよそ50年前から始まったマンガです。その間に、いろいろな“あったらいいな、できたらいいなグッズ”が、登場しています。

その一つが“**糸なし糸電話**”です。糸電話は、文字通り糸でつながって会話ができる道具です。また、当時の固定電話は外部と配線でつながっています。そうした線でつながらない“糸なし糸電話”は、空想上の“あったらいいなグッズ”でした。ところが、この50年の間にちゃんと“**携帯電話**”という形で、“あったらいいなグッズ”は実現できているのです。また、“**何でもボックス**”というテレビも見られる、音楽も聴ける、写真も撮れるという四角の物だったら何にでもなれる優れものを登場させています。これはまさに“**スマートフォン**”そのものです。人間は、“できたらいいな”を夢で終わらせることなく、着実に実現させています。

次に、近未来の世の中を想定した、内閣府制作の“**society 5.0すぐその未来**”の動画を視聴させました。この動画は、ドローン宅配、無人走行バス、AI家電、オンライン診察など、私たちの様々な“あったらいいな”が近未来に実現している様子を映し出しています。こうした夢の実現に向けて人間は、どのような力を発揮しているかということ、

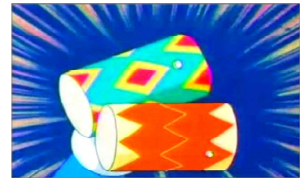
- ① 世の中の課題（問題）をとらえる。
- ② 知識や技能を生かして考え、アイデアを生み出す。
- ③ 生み出したアイデアを他者と協議する。
- ④ アイデアを他者と共に実現し課題（問題）を解決する。

こうした過程では、自分自身の力を精一杯に高めていく力、他者のことを考え、他者と共に話し合い、解決に向けて実行する力が必要になります。

こうした力は、本校の建学の精神「至心」における「自分の力をしっかり高めていこう」「周りの人のためを考えて行動しよう」につながるものです。

2学期には、未来を創造する子ども達に、このような「至心」の精神に基づく姿が沢山みられることを願っています。

糸なし糸電話



何でもボックス



society 5.0すぐその未来

